

日本
共産党

八幡市議会 報告ニュース

連絡先

山本邦夫市議	982・8844
巖博市議	982・9663
亀田優子市議	982・1277
中村正公市議	983・8312
澤村純子市議	983・6275

2019年10月6日 No.683 日本共産党八幡市議会議員団(983)2005

◇ 市議会メール jcp-ywta@am.wakwak.com ◇ ホームページ⇒ [JCP八幡市議会](#) で検索

高校卒業まで医療費無料化を 与党会派が反対 請願 4426筆 日本共産党だけが賛成

9月26日に開かれた八幡市議会の本会議で、「子どもの医療費無料化を高校卒業まで拡充する請願(4426筆)」に、日本共産党の5人が賛成しましたが、自民系、公明、民主系など与党会派の議員が反対したため不採択になりました。

子どもの医療費を高校卒業まで助成している自治体は、2009年は2つの自治体だけでしたが、2018年には541自治体に増えています。京都府下では、京丹後市、南丹市、京丹波町、伊根町、井手町、和束町でおこなっています。久御山町では入院のみ高校卒業まで無料化しています。大阪府では、大阪市、堺市、寝屋川市、門真市など10の自治体で高校卒業まで助成しています。

2200万円あれば無料化できる!

少子化対策として、保護者の経済負担を軽減することが求められています。八幡市で高校卒業まで医療費を無料化するために必要な財源は、入院で300万円、通院で1900万円の合計2200万円です。

京都府まかせでは進まない

八幡市は、この間、「京都府で統一した制度が望ましい。現時点では高校卒業までの無料化は考えていない」と答弁しています。府下のなかで最も人口が多い京都市の制度が一番遅れています。京都市が制度拡充に踏み切らない限り、京都府の制度は前進しないこととなります。京都府まかせではなく、八幡

市が先陣をきって、高校卒業までの医療費無料化に踏み出すべきです。

賛成 5人

日本共産党(山本邦夫、巖博、亀田優子、中村正公、澤村純子)

反対 14人

新政クラブ(奥村順一、中村正臣)

公明党(岡田秀子、太田克彦、清水章好)

民主共生クラブ(関東佐世子、長村善平、小川直人)

緑風会(小北幸博、菱田明儀、山口克浩)

みらいクラブ(横山博、鷹野雅生、横須賀生也)

* 山田芳彦議長は採決に加わらず。

山田美鈴議員は欠席。

議会活性化特別委員会を設置

9月議会で、議会活性化特別委員会が設置されました。7人の議員で構成され、日本共産党からは山本市議、亀田市議が出席します。委員長に山本市議を選出。

日本共産党は、4月の市議選やその後の議会論議で議会改革を掲げ、特別委員会の設置を提案してきました。議員提案や質問時間の保障と審議の活性化、請願者の趣旨説明などの発言機会をつくることなど、議会活性化をめざします。

◎委員長 山本邦夫

◎副委員長 菱田明儀